

地域防災実践型共同研究（特定） 中間報告（課題番号：30R-01）

課題名：持続可能な防災まちづくりと防災人材育成に関する研究

研究代表者：佐藤 健

所属機関名：東北大学災害科学国際研究所

所内担当者名：岩田知孝・矢守克也

研究期間：平成30年4月1日～令和2年3月31日

研究場所：東北大学災害科学国際研究所ならびに自然災害研究協議会東北地区部会メンバーの研究機関

共同研究参加者数：26名（所外24名，所内2名）

・大学院生の参加状況：0名（修士名，博士名）（内数）

・大学院生の参加形態 []

平成30年度 実施状況

- 1) 地域コミュニティが内発的に取り組む防災まちづくりモデルに関する事例調査
防災まちづくりモデルに関する先進事例の調査活動として，横浜市の北綱島小学校地域防災拠点運営委員会および，「マンション防災」のパイオニアである高松市のイトーピア高松管理組合に対して，現地調査を実施した。
- 2) 防災研究成果の社会実装手法に関する研究
岩手大学学校安全学シンポジウム2018「教師教育の充実に向けた『学校安全学』の構築」に参加し，防災研究成果の社会実装手法に関する情報収集を実施した。
- 3) 持続発展可能な地域防災ロールモデルの構築
仙台市青葉区の片平地区まちづくり会が推進する「片平流防災まちづくり」の実践に協働することにより，持続発展可能な地域防災ロールモデルの構築に取り組んだ。
- 4) オープン・フォーラム等での成果発信および社会還元
2018年10月8日，第37回日本自然災害学会オープン・フォーラム「震災の伝承と防災の未来～被災地へ向き合う「災害と教育」～」を仙台にて開催し，パネルディスカッションと中学生と高校生による防災学習・研究成果のポスター発表を通して，防災人材育成に関して東日本大震災の被災地からの情報発信を行った。

令和元年度 実施計画

- 1) 地域コミュニティが内発的に取り組む防災まちづくりモデルに関する事例調査
防災まちづくりモデルに関する先進事例の調査活動として，横浜市の北綱島小学校地域防災拠点運営委員会を対象とした継続調査および，熊本県が推進する「防災型コミュニティスクール」に関する現地調査を行う。
- 2) 防災研究成果の社会実装手法に関する研究
日本安全教育学会第20回山形大会公開シンポジウム「防災教育は学校と地域が協働してこそ多様な価値が創造される」等に参加し，東北地方で展開されている防災研究成果の社会実装手法に関する情報収集を継続実施する。
- 3) 持続発展可能な地域防災ロールモデルの構築
仙台市青葉区の片平地区まちづくり会をはじめとした先進的なコミュニティ防災活動の実践に継続して協働することにより，持続発展可能な地域防災ロールモデルの構築に取り組む。
- 4) オープン・フォーラム等での成果発信および社会還元
2019年11月，第2回世界防災フォーラム・仙台防災未来フォーラムにおいて，仙台市青葉区の片平地区まちづくり会が推進する「片平流防災まちづくり」等について，持続発展可能な地域防災ロールモデルとして情報発信を行う。